

平成 28 年 5 月 10 日

平成 28 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 28 年 3 月期の個別業績 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期	30,142	△1.0	1,001	△16.6	1,076	△15.7	174	△86.3
27 年 3 月期	30,438	△6.0	1,200	△28.2	1,275	△25.6	1,273	△15.8

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
28 年 3 月末	24,007		13,046		54.3	
27 年 3 月末	24,149		12,807		53.0	

2. 経営状況について

【全体状況】

当社は、高品質の価値ある商品をお届けすることにより、ファブリックスにおけるリーディングカンパニーを目指し、各々の事業に取り組みました。

当事業年度には、“プロに選ばれるオーダーカーテン”をコンセプトに、オーダーカーテンシリーズ「FELTA（フェルタ）」のラインアップを大幅に拡充し、7月にリニューアル発売しました。

また、フロアカバリング商品（床材）においても、「上質」「本物らしさ（再現性）」にこだわり、よりハイグレードなインテリア空間を演出できるタイルカーペット「アートバンク／カラーバンク」とビニル床タイル「リファインバックエグザ」「エグザウッド／エグザストーン」の新作を8月に発売しました。

当事業年度における売上高は、呉服ショップの店舗数を増やしたことなどにより身装・美術工芸事業は売上を伸ばしたものの、事業規模の大きいインテリアファブリック事業の売上高が前年を下回ったことから、前年同期比2億96百万円（1.0%）減収の301億42百万円となりました。

損益については、退職給付債務に関して数理計算上の差異を即時認識する会計処理を採用しているため、金利低下に伴い退職給付費用が3億46百万円発生した影響などから、営業利益は前年同期比1億99百万円減益の10億1百万円、経常利益は同1億99百万円減益の10億76百万円となりました。当期純利益については、特別損失として関係会社株式評価損8億14百万円を計上したことなどから、前年同期比10億99百万円減益の1億74百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

前年度後半に新規出店した呉服ショップが通年で寄与したことなどから、売上高は前年同期比1億68百万円（6.7%）増収の27億3百万円となりました。

営業利益については、退職給付費用が上記要因により93百万円発生した影響などから、前年同期比91百万円減益の29百万円の損失となりました。

[インテリアファブリック事業]

ホテル・宿泊施設、店装業者などのコントラクトマーケットへの販売は堅調に推移したものの、全国主要百貨店への販売を中心としたホームファッション部門が事業の再編を進めた影響から大幅な減収となったことに加え、主力のオーダーカーテンも売上を落としたことなどから、売上高は前年同期比4億64百万円（1.7%）減収の274億30百万円となりました。

営業利益については、退職給付費用が上記要因により2億52百万円発生した影響などから、前年同期比2億11百万円減益の10億21百万円となりました。

以上